

モニタリング結果表

| | | | |
|-------|---------------------|-------|---------------|
| 公の施設名 | 石越高森公園 | 所管課 | 観光シティプロモーション課 |
| 施設の住所 | 石越町南郷字矢作高森100番地外 | 電話 | 0228(34)2221 |
| 指定管理者 | 株式会社いしこし (代表) | | |
| 指定期間 | 平成31年4月1日～令和3年3月31日 | 設置条例名 | 登米市公園条例 |

1 利用状況

(1) 利用状況

| 項目 | 平成29年度実績 | 平成30年度実績 | 平成31年度実績 | 平成 年度実績 | 平成 年度実績 | 備考 |
|----------|----------|----------|----------|---------|---------|----|
| 稼働(開館)日数 | 172 | 0 | 236 | | | |
| 利用件数 | 42,579 | 0 | 46,470 | | | |
| 内減免件数 | 338 | 0 | 0 | | | |
| 利用者数 | 20,047 | 0 | 44,774 | | | |

(2) 施設管理以外で仕様書に定める事業の実施状況(例: 公民館事業)

| 事業名 | 平成29年度実績 | | 平成30年度実績 | | 平成31年度実績 | | 平成 年度実績 | | 平成 年度実績 | | 備考(内容) |
|----------|----------|------|----------|------|----------|------|---------|------|---------|------|--------|
| | 回数 | 参加者数 | 回数 | 参加者数 | 回数 | 参加者数 | 回数 | 参加者数 | 回数 | 参加者数 | |
| 実施はありません | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |

2 項目別評価

| 評価大項目 | | | | 指定管理者評価 | 所管課評価 | |
|--------------------------------------|---------------------------------------|--|---|---------|-------|---|
| (総括1) 利用者の平等な利用の確保及びサービスの向上が図られているか。 | | | | A | A | |
| 中項目 | (1) 利用者の平等な利用の確保 | 小項目 | ①利用者に対して公平に利用機会を提供しているか。 | A | A | A |
| | | | ②利用料金の減額免除手続きは適切に行っているか。 | A | | |
| | | | ③利用者の意見要望を把握し、適切に対応しているか。 | A | | |
| | | | ④利用者数拡大の取り組みを行っているか。 | A | | |
| | (2) サービス向上の具体的な手法及び期待した効果に係る取り組み内容実績等 | 小項目 | ①利用者へのサービス向上のための取り組みを行っているか。 | A | A | A |
| | | | ②地域の観光振興や地域振興のための施設の機能を活用した取り組みを行っているか。 | A | | |
| | | | ③施設情報の提供に係るインターネット等を活用した広報の取り組みを行っているか。 | A | | |
| | | | ④地域や関係機関との連携を行っているか。 | A | | |
| 指定管理者の自己評価 | | 平成30年度は、高森パークゴルフ場の建設に向け休園期間となったものの、開園期間においては、児童生徒のジュニアパスポートの利用、身障者及び養護施設からの入園等、適切な入園料減免の対応している。また、自社ホームページをはじめ、インターネット各種情報サイトへの情報発信を行い、チャチャワールドのPRと利用拡大に努めた。 | | | | |
| 施設所管課による評価 | | 平成29年度内においては、適切な減免対応をはじめ、施設公式ホームページでの情報発信、各種情報サイトでのPR活動が行われていた。高森パークゴルフ場の整備に伴い、平成30年度は休業期間となったが、全体を通し、適切な運営がされていた。 | | | | |

| 評価大項目 | | | | 指定管理者評価 | | 所管課評価 | |
|--|---|--------------------|---|----------|---|----------|---|
| (総括2) 公の施設の適切な維持及び管理並びに管理に係る経費の縮減が図られているか。 | | | | A | | A | |
| 中項目 | (1) 施設の適切管理及び管理内容に係る実績等 | 小項目 | ①設備の保守点検や清掃、警備、衛生管理、環境整備等の維持管理業務を適切に行っているか。 | A | A | A | A |
| | | | ②省エネ、ゴミの抑制、リサイクルの推進等の環境負荷低減の取り組みを行っているか。 | A | | A | |
| | | | ③個人情報保護対策は適切に行われているか。 | A | | A | |
| | | | ④施設の安全確保のための取り組みを行っているか。 | A | | A | |
| | | | ⑤損害保険等必要な保険に加入しているか。 | A | | A | |
| | (2) 施設の管理運営経費に係る内容実績等 | 小項目 | ①収支計画書と比較して、収支状況は適正か。 | A | A | A | A |
| | | ②収入確保の取り組みを行っているか。 | A | A | A | A | |
| | | ③経費縮減の取り組みを行っているか。 | A | A | A | A | |
| 指定管理者の自己評価 | | | 遊具についてはマニュアルに従い、点検整備や施設の保守に努めており、収支状況については、外部委託を抑制し、経費の削減を目指した。また、休園期間中においても、令和元年度のリニューアルに向け、必要経費以外、出来得る限りの経費削減を行い、適切な財政状況を維持できるよう、尽力した。 | | | | |
| 施設所管課による評価 | | | 各種施設の点検や、環境の維持及び整備を定期的実施し、安全・安心を念頭に置き、適切な運用に努めており、経営においても、長期的な休園期間中の経費削減に努め、健全な財政状況維持へ向けた工夫が見受けられた。リニューアルに向け、資金運用に対する工夫を重ねていた。 | | | | |
| (総括3) 公の施設の設置目的を達成するために事業計画等に沿った管理を安定して行う能力を有しているか。 | | | | A | | A | |
| 中項目 | (1) 安定運営の人的能力(管理体制・職員体制、指導研修体制、緊急時対応等) | 小項目 | ①施設の管理運営を行うための適切な職員体制となっているか。 | A | A | A | A |
| | | | ②施設の管理運営に関わる職員の労務管理は適切か、また労働保険への加入等の労働福祉の体制は整備しているか。 | A | | A | |
| | | | ③施設の管理運営に関わる職員の指導育成は計画どおり行っているか。 | A | | A | |
| | | | ④緊急時の危機管理体制は整備されているか。 | A | | A | |
| | (2) 安定的運営を行う経理的基盤 | 小項目 | ①団体の財務状況は健全か。 | A | A | A | |
| | | | ②経理規程等が整備され、指定管理業務に係る経費が適切に管理されているか。 | A | A | | |
| ③団体としての監査体制があり、適切に監査を行っているか。 | | | A | A | | | |
| 指定管理者の自己評価 | | | 株主総会にて、社員兼務役員の配置を決定し、常勤体制で管理を行い、職員の人員体制は適切である。会計処理は、経理規定に則り、会計事務所の指導のもと、適正に処理を行っている。また、上半期、決算期には監査を実施し、運営状況を役員は常に把握している。休園期間中においても、外部講師による社員教育の実施や消防署指導の下緊急時対応訓練の実施といった、社員の能力向上に努めた。 | | | | |
| 施設所管課による評価 | | | 職員においては、クレームや苦情の状況整理をはじめ、再発防止に努めており、各種法令の遵守徹底等を行い、より良い接客対応を目指し、適切な人的管理が行われている。外部講師による社員教育の実施、消防署指導の下緊急時対応訓練の実施など社員の能力向上に努めている。中期監査、決算監査を実施するとともに、定時取締役会での監査役との意見交換を行っており、適切な運営を実施している。人的管理・経営管理共に適切な運用がされていた。 | | | | |
| (総括4) ※その他、当該公の施設の設置目的を効果的に達成するために必要と認める事項 | | | | | | | |
| 中項目 | (1) ※市が評価項目を設定していた場合、又は指定管理者が申請時に提案した内容 | 小項目 | | | | | |
| | (2) | 小項目 | | | | | |
| 指定管理者の自己評価 | | | | | | | |
| 施設所管課による評価 | | | | | | | |

3 総合評価

| 総合評価 | 指定管理者による総括自己評価 | | 施設所管課による評価 | |
|----------|----------------|---|------------|--|
| | 評価 | | 評価 | |
| A | | 開園中においても、費用支出の圧縮に努め、休園期間中には、利用料収入が無いなか、市内外への遊具及び外販部門の積極的な出張営業を実施するといった、経営努力を重ねたことで、黒字決算での運用を継続することができた。 | A | 長期の休園期間中にも、経費削減や社員教育を行っており、健全な財政、社員の能力向上に努めていた。市内外へのイベントへの出店や、充実した施設を目指した行動が見受けられ、その結果、令和元年度には、経営状態が健全な財政状況へ進んでいる様子が伺える。 |